

油断大敵 みんなで防ごう油の流出事故

～注意は数分、事故処理は数日にも～

油類や有害な物質が川へ流出すると、魚が死んだり、水道水の取水ができなくなることがあります。このような水質事故は、令和5年に新潟県内の信濃川水系では51件発生しており、そのうち23件が信濃川下流域で発生しています。

誤って油類等を流出させてしまったり、流出事故を発見した場合には、最寄りの消防署、市町村または県の環境センター※へご連絡をお願いします。

迅速な対応が被害の拡大を防ぐことにつながります。

水質事故は一年を通して発生しています。原因者は、その対策費用を求められることがありますので、取扱いには十分注意してください。

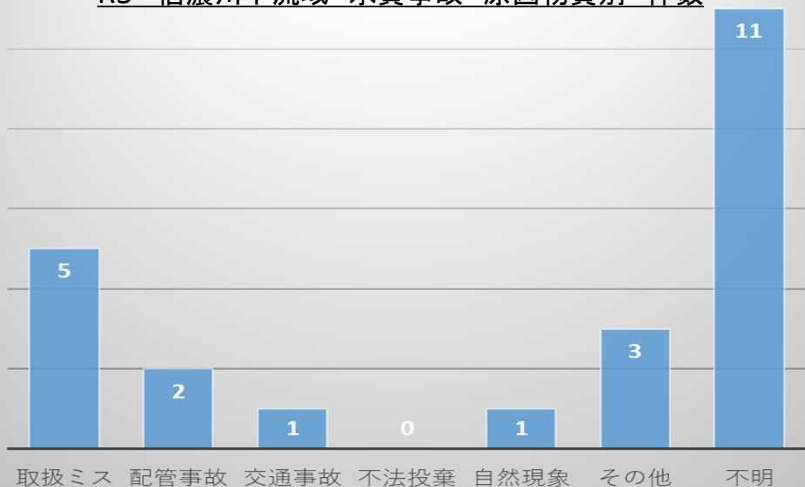
水質事故を防ぐポイント

- 給油作業中は、絶対に現場を離れないようにしましょう。
- 給油後は、忘れずにバルブをきちんと閉めましょう。
- タンクや配管に破損がないか、よく点検しましょう。
- 油送設備の操作ミス、誤操作に注意しましょう。



オイルフェンスにより、下流に油類が流れ出るのを防いでいる様子

R5 信濃川下流域 水質事故 原因物質別 件数



R5 信濃川下流域 水質事故 原因別 件数



油膜が確認されたものでも、油種が特定できなかったものは「不明」として集計しています。

※ 新潟県環境センター
TEL 025-280-5157

政令市(新潟市)は県に代わり
新潟市環境対策課
TEL 025-226-1371